



松高生が活躍！！



1月19日に生活情報科の3年生が松平交流館で行われた課題研修発表会で学習の成果を発表しました。また、1月18日には1年生が地域の清掃活動やチューリップなどの植え付けを行い、それらの様子が新三河タイムスに掲載されました。

## 松平高 食物や経済テーマに研究発表



豊田市鶴ヶ瀬町の松平高校（加藤敏実校長 生徒519人）の生活情報科3年38人が松平交流館（九久平町）で19日、講座ごとに取り組んだ学習や研究の成果を同科1、2年と保護者、地域住民などの前で発表した。（岡田）

同科3年は食物調理、イントによるプレゼンテーション、消費経済、被服デザイン、ファッションなど原稿を読むの講座から選択し1年間、のではなく自分の言葉で受講。生徒らはパワーポイント発表した。

食物調理講座の9人は、食生活を健康で豊かなものにすることを目標にさまざまな視点で、「イン



手作りのドレスで発表したフ  
ファッションショー19日豊  
田・九久平町の松平交流館で  
④と清掃活動を行う生徒ら  
18日、豊田・巴川沿道で

## 巴川沿道で清掃活動

スタントラーメンを極める「チーズで元気」館、巴川沿道で清掃活動「5分タックリング」の3や球根、花苗の植え付けのテーマで発表。消費などを行った。

経済講座の21人は生活に関わる「睡眠について」「松平郷園地」「山菜について」など9つのテーマの研究成果を発表した。生に続き、3学期は1年、被服デザイン講座の8生が行った。清掃活動を通じ、地域の人の交流や生徒のコミュニケーション能力育成のきっかけ作りを図る。

巴川周辺で清掃活動を行った岩田優季さん、手呂町は「清々しい気持ちになった。自分の地域でもごみが落ちていたら拾うようにしていきたい」。松平こども園で活動した城殿朋花さん、豊松町は「チューリップの色を園児と一緒に想像できて満足している」と植えることができた。自分から園児に声をかけていくことの大切さを感じた」と話していた。

地域交流図の意識疎通能力育む